

令和8年4月8日

一般社団法人ヨボーイ設立のお知らせ

～予防医療をもっと身近に～

～地域と企業、医療をつなぎ、健康行動を支える新たな取り組みを開始～

◆発表のポイント

- 2026年3月17日、予防医療の啓発・推進を目的とする一般社団法人ヨボーイを設立しました。
- 健診・人間ドックの受診後に生じやすい「行動変容の壁」に着目し、医療と地域、企業、生活者をつなぐ新たな仕組みづくりを進めます。
- 主な取り組みとして、①健康行動を支援するアプリケーション開発、②地場企業と連携した商品開発・イベント企画、③SNS・動画・記事を活用した啓発活動を展開します。
- 倉敷-岡山-瀬戸内から、予防医療を文化として根付かせることを目指します。

一般社団法人ヨボーイは、2026年3月17日、倉敷中央病院附属予防医療プラザ職員の木口賀之医師により、予防医療の啓発および推進を目的として設立されました。

日本では、健康診断や人間ドックによって健康課題を早期に把握できる機会が広がる一方で、その結果を日々の生活改善や行動変容につなげることは、必ずしも十分に実現できていません。検査で異常やリスクが見つかったとしても、その後の運動習慣や食習慣の改善、継続的な受診や相談につながらないケースは少なくありません。

ヨボーイは、こうした「健診後の空白」を埋めることを目指し、医療の専門性を基盤としながら、一医療施設では対応しづらい、地域企業、クリエイター、テクノロジー、人々の暮らしを結びつける活動を積極的に行ってまいります。

単なる情報提供にとどまらず、生活者が自然に健康的な選択を続けられる仕組みづくりを通じて、地域社会全体の健康寿命延伸と、持続可能な予防医療モデルの実装を進めていきます。

◆代表からのひとこと

予防医療において本当に大切なのは、健診で病気やリスクを見つけることだけではなく、その後の暮らしをどう支えるかだと感じています。

運動や食事、睡眠、禁煙といった生活習慣の改善は重要ですが、わかっても生活を変えることは簡単ではありません。だからこそ、医療の知見だけでなく、デザインやテクノロジー、地域の企業や人の力を組み合わせ、健康づくりをもっと自然で前向きなものに変えていく必要があります。

一般社団法人ヨボーイは、予防医療を一部の専門家のものでなく、地域の文化として根付かせることを目指します。岡山・瀬戸内から、新しい予防医療のかたちを少しずつ実装してまいります。



一般社団法人ヨボーイ
代表理事
木口賀之医師

◆発表内容:

<設立の背景>

近年、生活習慣病、フレイル、メンタルヘルス不調など、日常の生活習慣と深く関わる健康課題が増加しています。健診や人間ドックの普及により、疾病リスクを早期に把握することは可能になってきましたが、その結果を継続的な行動変容につなげる仕組みはまだ十分ではありません。

また、地方においては、医療機関だけで地域の健康課題を解決することには限界があり、企業、地域コミュニティ、教育、情報発信、テクノロジーなど、多様な主体との連携が不可欠です。

こうした課題認識のもと、一般社団法人ヨボーイは、予防医療を社会に実装するためのハブとして設立されました。

<法人設立の目的>

本法人は、予防医療に関する啓発・教育・実践支援を通じて、人々の健康的な生活習慣の形成を支援し、地域社会の健康増進に寄与することを目的としています。

あわせて、地域企業や医療機関、行政、クリエイティブ分野との連携を進めることで、健康づくりをより身近で継続可能なものへと変えていくことを目指します。

<主な事業内容>

① 健康行動を支援するアプリケーションの企画・開発

人間ドックや健康診断の受診を起点として、次回受診までの1年間を支える行動変容支援アプリの企画・開発を進めます。健診結果の見える化、生活習慣の記録、動画コンテンツ、AIを活用した対話支援などを通じて、日常生活の中で無理なく健康管理を続けられる仕組みを目指します。

② 地場企業と連携した商品開発・イベント企画

地域企業と連携し、健康づくりを後押しする商品やサービスの開発を進めます。たとえば、シューズメーカー等との協働によるウォーキングイベントや、地域の特色を活かした健康関連商品の企画などを通じて、予防医療を生活文化として広げていきます。

③ SNS・動画・記事を活用した啓発活動

YouTube、NOTE、SNSなどを活用し、予防医療に関する情報をわかりやすく発信します。医療的な正確性を担保しながら、専門知識を生活者の言葉に翻訳し、行動変容のきっかけとなるコンテンツづくりを進めます。

<期待される効果>

- ・ 健診受診後の生活改善や継続受診を後押しし、行動変容の実効性向上が期待されます。
- ・ 地域企業との協働を通じて、健康づくりをより身近で楽しいものに変えることができます。
- ・ 医療、地域、企業、テクノロジーを横断した新しい予防医療モデルの構築につながります。
- ・ 岡山・瀬戸内地域における健康づくりの機運醸成と、地域ブランドの向上に寄与することが期待されます。

<今後の展開>

今後は、県内外のインキュベーション事業や地域ネットワークの中で築いてきたつながりも活用しながら、アプリ開発、企業連携、情報発信を具体化していきます。

また、将来的には、地域の医療機関や自治体、企業と連携した実証事業を進めることで、岡山・瀬戸内発の予防医療モデルとして横展開可能な仕組みづくりを目指します。

◆補足・用語説明

予防医療

病気を治療する前の段階で、発症予防、早期発見、重症化予防を行う医療や取り組みのことです。

行動変容

健康診断の結果や医療者からの助言を受けて、運動、食事、睡眠、禁煙など、日常の生活習慣をより良い方向へ変えていくことを指します。

地域連携型予防医療

医療機関だけでなく、企業、自治体、教育機関、地域団体などが協力しながら、地域住民の健康づくりを支える仕組みのことです。

【法人概要】

法人名：一般社団法人ヨボーイ

設立日：2026年3月17日

所在地：岡山県倉敷市鶴形1-11-11

事業内容：予防医療の啓発・推進、健康行動支援アプリの企画・開発、地域連携事業、商品開発、イベント企画、情報発信等

【連絡先・お問い合わせ先】

一般社団法人 ヨボーイ /

倉敷中央病院附属予防医療プラザ

担当者名：木口賀之(代表理事 / 医長)

メールアドレス：kiguchiyoshiyuki@gmail.com

電話番号：086-422-6800(代表)

050-1721-3825(AI電話専用ダイヤル)

Webサイト：<https://yoboy.netlify.app/>